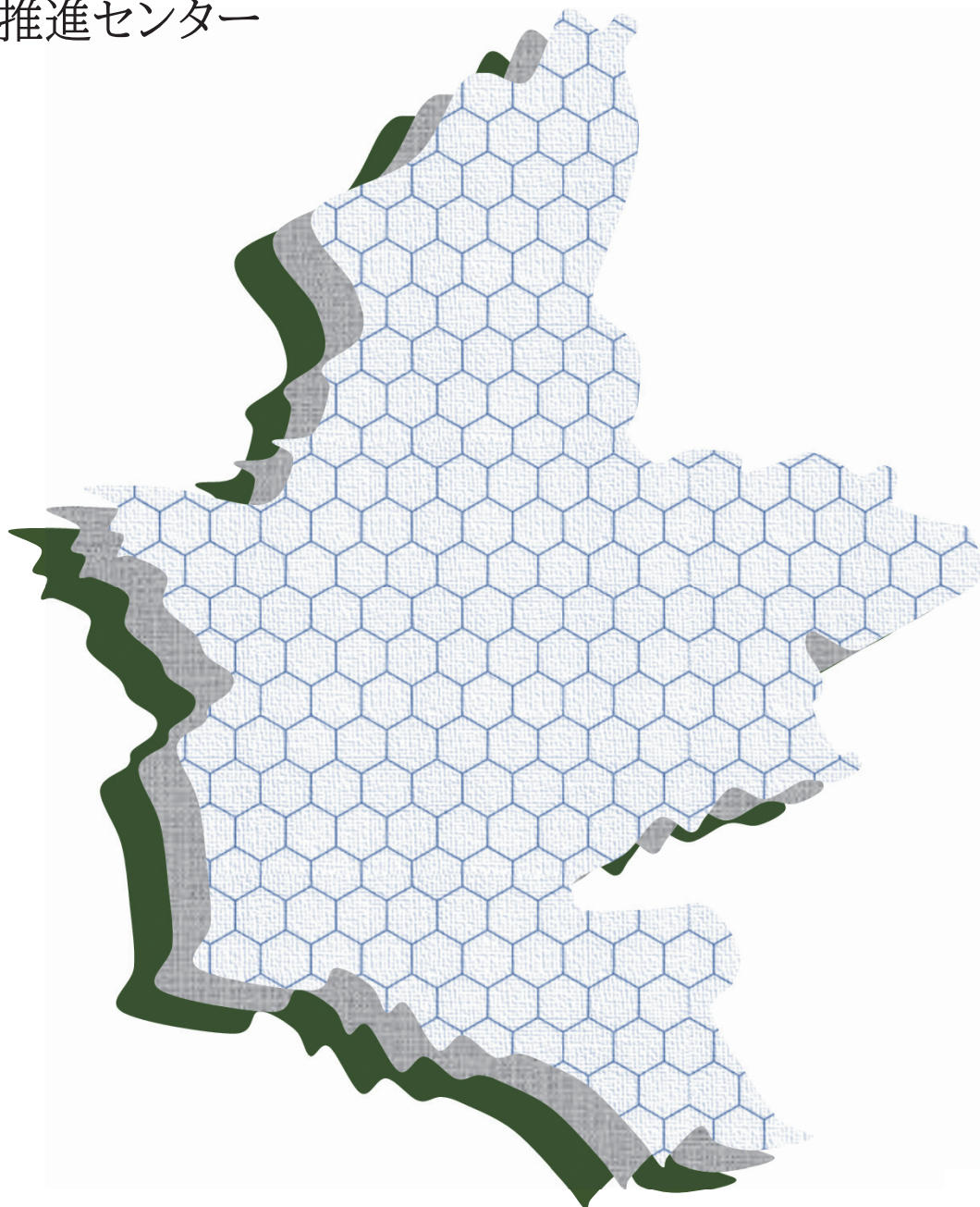


データで考える 熊本市の都市政策 2025

熊本市EBPM推進センター



はじめに

本データ集『データで考える熊本市の都市政策 2025』は、まちづくりや政策形成において、客観的なデータに基づき現状や課題を捉えるための基礎資料として活用いただくことを目的に、さまざまな分野のデータを集約・可視化し、その特徴や傾向が一目で分かるように取りまとめています。

初刊行となる 2023 年度版以降の社会環境の変化を踏まえ、最新のデータに基づき内容を更新しました。熊本地震からの復興やコロナ禍という未曾有の社会変動を経て、経済活動や社会構造の変化をデータの動きから把握できるようにしています。

また、政令指定都市との比較やランキング、経年トレンド、データの類型化など、多角的な視点を取り入れることで、本市の特徴や課題をより明確にしました。単なる現状把握にとどまらず、将来を見据えた政策課題の抽出などに役立つ構成としています。

このデータ集が目指すのは、データを通じて都市の姿を理解することです。数字は一見無機質に見えるかもしれませんが、その背後には人々の暮らしや地域の歴史、社会の変化が反映されています。データを読み解くことは、都市の過去と現在を的確に捉え、未来を構想するための重要な手がかりとなります。

本データ集が、行政における政策検討の参考資料として活用されることはもとより、市民の皆さまにとっても、熊本市の現状や変化を知り、これからのまちづくりや地域の将来について考えるきっかけとなれば幸いです。

熊本市 E B P M 推進センター